

質問順に掲載しています。  
また、内容は紙面の都合で要約しています。

## 市長の政治姿勢について



山田 雅彦 議員

**問** 市長が考える「ファミリーサポートセンター」の設置時期・形態等について。

**答** 育児支援を受けたい人と提供したい人が会員となり相互に育児支援を行う制度が求められている。鹿島区のセンターをよく研究し早い時期に全市に設けていきたい。

**問** 不妊治療に対する市独自の支援策導入について。

**答** 子育てに対する補助制度は、母胎を含めた子供が生まれる前、保育時、就学後の教育という部分でのものがある。不妊治療に対する支援は、そうした総体的な部分での対応が必要であり、医師会等の意見を参考にし、関係機関との協議も踏まえ前向きに検討する。

**問** 定期性預金中心の現金

管理を見直し、国債による運用を積極的に取り組むことについて。

**答** 公金管理は、安全性のみならず運用益についても十分配慮すべきと考える。利回り状況を十分捉えた中での資金管理が必要である。職員の研鑽に努め金融機関等と相談し時機を逸しない対応をする。



鹿島の「ファミリーサポートセンター」の様子

## 新市の長期的財政の見通しは



平田 武 議員



**問** 三位一体改革に伴う補助金等の影響と固定資産負担率の統一化及びスポーツ施設の整備について。

**答** 平成18年度、児童手当、高齢住宅家賃対策で8千万円、地方交付税で4億円が減額した。税源移譲の暫定措置として、所得譲与税で2億1千万円増を見込んでいた。毎年国の制度を見て事業計画にあたってはローリングをする。平成18年度、土地の評価変えがあり、早い時期に税負担の均衡化を図って行く。

**問** スポーツ施設整備として、原町運動公園に21年度までにテニスコート6面を増設する計画である。

**問** 食料の需給調整を農業者及び団体に委ねることについて。

**答** 米の持続的生産を確保するための政策転換と受け止めている。担い手で意欲ある方へ品目横断的経営の安定対策に支援。異業種の農業参入には積極的には取り組まない。

**問** 少子化に伴う学校運営及び陸上競技等、野外ステーションの整備について。

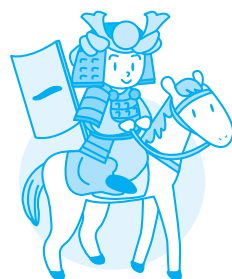
**答** 平成5年と比較して小学児童が2,100人減少。学校・地域・保護者で検討して行く。県大会を開催できる施設は必要。

## 観光200万人発想!!



湊 清一 議員

**問** 祭のプロデューサーの採用で発想転換し、30曲を越す全国一の相馬民謡をマツケンサンバ風に編曲、約1ヶ月続ける郡上八幡祭を参考にお野馬追祭を1週間開催の祭に改革。市民主導の祭と神事にし、200万人集客を目指すべきである。また、新田橋に観光棧橋を架け上下流の河川敷を公園化し、騎馬武者の出陣、凱陣陣地に環境整備し日本有数の祭に企画すべきと考



えるが。

**答** 相馬野馬追は国の重要無形民俗文化財で形を崩すのは困難であるが、23日前後に別の形での行事や企画は検討する価値がある。また、新田橋の広い河川公園の活用は良い意味がある。県に要望したい。

**問** 心臓疾患等は若年化傾向にあり、市総合病院を地域中核救急救命センターとして機能

充実強化し、市民の生命と福祉に寄与すべきと考えるが。

**答** 大動脈瘤等の重症患者は、適切な応急措置と高度医療が必要で、第三次救急医療機関と消防救急の連携が鍵である。小児救急医療等の要請もあり、高度医療機器と医師確保が喫緊の課題で、非常に厳しいが総合病院として努力したい。

## 少子化対策に ついてなど…



但野 武光 議員

**問** 休日保育の計画について  
各自治区1ヶ所ぐらいは  
休日保育を指定し、市独自で  
補助をする制度化は。  
**答** 保護者の就労形態の多  
様化に対応するため、旧3市  
町で策定済の次世代育成支援  
行動計画をもとに各区の地域  
性を踏まえながら実施に向け  
検討しながら対応してまいり  
たい。

**問** 託老所の開設に向けた  
行動を起すべきと考えるが。  
**答** 今後、事業者と相談しな  
がら進めていきたい。  
**問** 行財政改革は最少の経  
費で最大の効果を上げるべき  
創意と工夫が必要と思うが。  
**答** 顧客重視、成果重視の視  
点に立った行政経営が必要で  
あると考え、行政評価、バラ  
ンススコアカードなどのマネ

ジメントシステムを導入しな  
がら実施したいと考えます。  
**問** 今後の商店街活性化対  
策についてどのように検討し  
ているのか。  
**答** 新市建設計画におきま  
して中心市街地以外の地域の  
既存商店街についても中心市  
街地と同様に各種支援対策を  
展開してまいります。



遊具で楽しむ園児達

## 一体感のある まちについて



渡部 一夫 議員

**問** 文化公園、複合型健康施  
設、道の駅、新図書館事業の  
具体的な実施計画及び総体的  
理解とは、どのような状態を  
指すのかお伺いします。  
**答** いずれの事業も一定の地  
元住民の合意形成を図ってき  
たものの、改めて全市民に説明  
を行い、各区市民の理解度が同  
様になるなど市民の総体的理  
解の醸成に努める考えです。



小高文化公園の予定地

**問** どういう状態を市民が  
理解したということになるの  
かお伺いします。  
**答** 説明会に出席された  
方々に事業の情報を理解して  
頂き、さらにそこから発生す  
る理解、口コミ等も含め、効  
果を求めながら一定の理解を  
して頂くという状況です。  
**問** 客観的に市民の理解度  
を把握するには、アンケート

調査などをしなければ熟度が  
把握できないのではと考えま  
すが見解をお伺いします。  
**答** アンケート調査によつて  
事業が万が一否決をされる、あ  
るいはそれに近いような状態  
が出ては、折角一体化を進める  
流れに水を差すことになり、私  
は極力そういう方法は避けて  
いきたいということで、今説明  
会を進めているところです。

## 道の駅建設事業 推進と財源は



水井 清光 議員



道の駅建設予定地

**問** 平成18年度当初予算へ  
の計上がなされなかった理由  
は。  
**答** 一定の地元住民の合意  
形成は図ってきたものの、南  
相馬市の各自治区市民にも等  
しく理解を得て、円滑な事業  
推進を図る。また、財源とな  
る電源交付金については、5  
月の連休明け、申請を考えて  
いる。

**問** 議会に関連予算を計上  
しないで申請できるのか。  
**答** 議会の全員協議会等  
中で申請手続きについてご理  
解を得て、6月議会に本予算  
の提案をしたい。  
**問** 議会で議決する案件を、  
全員協議会で理解をいただい  
て申請し、予算は6月議会に  
出すとは、私には理解できな  
い。

**答** 先ほどの答弁について  
は撤回する。電源移入金交付  
金事業の申請時期は、一般の  
議員からのご指摘のとおり議  
会のご理解承認を受けての  
ち、正式な申請をすべきと判  
断。

質問順に掲載しています。  
また、内容は紙面の都合で要約しています。

災害に強いまちづくりをめざして



亀田俊英 議員

**問** 県の木造住宅耐震化診断促進事業が昨年6月より施行されているが本市でも取り組むべきでは。  
**答** 県では平成18年度中の策定を目指し県内市町村の耐震改修促進計画を取りまとめ、本市はこの計画をもとに18年度中に実施要綱を定め、本事業を導入します。  
**問** この診断事業を受けて

耐震補強工事に対する市独自の補助事業が必要では。  
**答** 耐震改修計画を策定の上、診断促進事業を制度化し、実態を踏まえながら本制度について検討したい。  
**問** 合併協議で学校給食費を統一するとなっているが検討の実態は。  
**答** 小学校1食単価を270円で諮問しました。

そうしますと小高は10円安く、鹿島は24円、原町は6円高くなります。  
**問** 小高区で実施している小学校低学年に対する給食費の助成制度、全市へ拡大するべきでは。  
**答** 子育て支援策として負担軽減を図ることは望ましいと思うが、財政状況を勘案し有効な支援策を検討する。



学校給食を楽しむ生徒達

複合型健康施設はどこでも赤字



佐藤英彦 議員

**問** 宮古市の複合型健康施設(タラン)は赤字で公社の経営が出来ず、1億5千万円の資本金をほぼ食いつくし市に経営返上に追い込まれたのではないか。  
市がやろうとしているタランも思いとどまるべき。  
**答** 宮古市の場合、ソフトサービスが十分でなくて失敗した。



**問** 青森県の旧市浦村、熊本県の上天草のタランも赤字で困っているのではないか。  
**答** どちらも、健康づくりの施設で、成り立っている。  
**問** タランの目玉で、絶対に必要であるといってきたエステ部門は1日の利用が2〜3人の状態で成り立つかどうか。  
**答** 部分的な問題である。やっつけていきたい。

**問** 指定管理を予定しているタランシステムジャパンは、赤字続きで格付けもEランク、あぶないのでないか。  
**答** 現段階では決定していない。  
**問** 鹿島区の振興策は。  
**答** 県立養護学校の誘致など町の活性化を考える。

市民負担の軽減こそ合併の目的



志賀稔宗 議員



合併式典

**問** 新市建設計画では莫大な借入財源と多額の後年度負担を伴う内容であるが、当初

目的との整合性は。  
**答** 教育環境、産業振興など重要な社会資本整備であり、有利な合併特例債を充当し持続可能なまちづくりを進める考えである。  
**問** 市長選で過半数の支持は得たものの54%対46%と僅差であったことは、大型事業に対する反対や見直しを求める市民の意思表示であると受

けとめているが市長の見解は。  
**答** 大型事業は議決事項であるが、より経費のかららない、市民負担にならないよう柔軟性をもって検討し、説明会に臨みたい。  
**問** 本市は歴史的にみても、市民生活の上からも一定の相互理解は、すでに十分図られており、特別職の区長設置の必要性があるとは思えないという

市民の声もある。合併特例法では「特に必要があると認める時には事務所の長に代えて区長を置くことができる」としているが、特別な事情とは何か。  
**答** 住民の安心感を醸成し円滑な地域行政運営を図るためだが、全市的な一体性が図られる状況になれば、できるだけ早く見直しができるのではないと思っている。

## 市長選挙の結果と市政のあり方



郡 俊彦 議員

**問** 市長選挙は「3人で3役を」という体制に対し、出遅れた地盤のない候補が僅差の結果であった。横山候補と日本共産党との政策協定「大型事業はアンケートで見直しを」「自治区長は廃止の方向で当面非常勤」は大きな反響を呼び、選挙結果にも影響を与えたと思う。この結果をどう見て、今後の市政運営に活か

**答** 合併に対しての理解は得られた。一方で、新市建設計画が十分理解されていないことや、合併に対する不安があったことも認識している。

**問** 財政計画は「三位一体改革」等による見直しが必要ではないか。18年度予算は計画より45億円少ないが。

**答** 10年平均270億円は

確保出来ると考えている。

**問** 10年で総額555億円の新市建設計画の中の大型事業費がふくらんでいる。公共施設の耐震改造、貧弱な福祉対策、その他新たに必要となる事業などに備えた大幅な見直しが必要でないか。

**答** 予備費29億円あるが、財政環境の変化、新たな政策展開が必要な場合考えられる。



合併式典

## 浪江・小高原発住民に是非を



渡部寛一 議員



小高原発予定地

**問** 原発は技術的に確立されているとは言えない。原発の安全性を監視すべき原子力安全委員会が、原発を推進している経済産業省内の一機関では、本当の安全は確保できないのでは。

**答** 正常な姿ではない。監視機構と推進とは別にすべきと考えている。

**問** 宮城県沖地震が心配さ

れている中ですが、津波の引き潮で原発が冷却不能になり重大事故につながる事が指摘されているが。

**答** 確認します。

**問** 原発は二酸化炭素削減、地球温暖化対策の手法としては、国際的に認められていないが、認識しているか。

**答** 認識はしている。

**問** 33年前の小高町議会誘

致決議をそのまま引きずり南相馬市の方針としている。

原発に対する市民の不安感は、大きく変わってきている。浪江・小高原発建設はその是非を改めて市民に問うべきではないか。

**答** 合併協議会で議論され、現行方針を引き継ぐとしている。この方針に基づいて対応していく。

## 介護保険料・利用料の減免を



荒木千恵子 議員

**問** 介護保険料及び利用料の減免や軽減措置を独自に実施している自治体は、県内でも、それぞれ36%と24%にのぼる。先進地に学んで、本市においても、介護保険料及び利用料の減免制度を創設する考えがあるか伺う。

**答** 今回の改正により、5段階区分から6段階区分と細分化され、低所得者層に配慮し

た金額になつていたので減免制度の創設は考えていない。

**問** 高齢者や障がい者の生きがい対策や社会参加対策の充実を図るために、高齢者の引きこもりの解消や寝たきり等介護予防対策という観点からも外出支援事業は、非課税世帯に限らず、すべての高齢者を対象とすべきではないか。



e-まちタクシー

小高・鹿島区が平成17年事業をやってきて、非課税対象者とそうでない部分があり、あくまでも交通弱者という捉え方で進めている。

**問** 小高区のe-まちタクシー制度は、いろいろな制限がなく、希望する高齢者は利用できる制度だが、南相馬市全域で実施できないか。

**答** 多目的総合交通システム構築の中で検討させていた